



宇宙うちゅうにどうして空気くうきはないの

地球ちきゅうは空気くうきをひきつけている

地球ちきゅうの大気たいきを空気くうきとよび、空気くうきには、ちっ素そが約78パーセント、酸素さんそが約21パーセント、そのほか、アルゴンあるごん、二酸化炭素にさんかたんそ、ネオンねおんなどが少しずつすこつふくまれています。

地球ちきゅう以外のわく星せいの中で、金星きんせいや火星かせいにも、大気たいきがあります。

金星きんせいは、二酸化炭素にさんかたんそやちっ素その厚い大気あつ たいきがとりまいています。火星かせいには、うすい二酸化炭素にさんかたんその大気たいきがあります。

また、金星きんせいや火星かせいよりも小さい水星すいせいや月つきには、大気たいきのようなものはありません。

引力いんりよくが弱いよわから

地球ちきゅうには引力いんりよく(重力じゅうりよく)があって、地球ちきゅうのまわりの空気くうきをひきつけているので、空気くうきが宇宙うちゅうへにげていくことはなく、空気くうきがなくなることはありません。

水星すいせいには引力いんりよくがありますが、地球ちきゅうに比べてたいへん弱よわくなっています。水星すいせいは引力いんりよくが弱いよわいので、その表面ひょうめんに空気くうきなどをひきつけておくことができないのです。

月つきに水みずや大気たいきがないのは、月つきの引力いんりよくが地球ちきゅうの約6分の1やく ぶんしかなく、水みずや大気たいきをひきつけておくことができなかったからです。

大気たいきは、引力いんりよくの強い星つよ ほしの表面ひょうめんにはひきつけられていますが、引力いんりよくの弱い星よわ ほしや、星ほしと星ほしの間あいだの宇宙うちゅうのような所ところには、大気たいきはないのです。(監修・国司 真)

